

「日本銀行組織規程」中一部変更

第 29 条を横線のとおり改める。

（局長、室長、研究所長及び検査役）

第 29 条 局に局長を、室に室長を、研究所に研究所長を置く。

局長、室長及び研究所長（以下「局室研究所長等」という。）は、局等の運営を統括するとともに、秘書役又は審議役が独立して処理する事務を除き、その局等の事務を処理する。

} 略（不変）

局室研究所長等に事故がある場合には、その局等の次席者がその職務を代理する。ただし、総裁が、その局等の職員の中からとくに代理者を任命したとき、又は局室研究所長等が、その局等の職員の中からあらかじめ代理者を任命したときは、この限りではない。

第 38 条および第 39 条を削り、第 31 条から第 37 条までを二条ずつ繰り下げ、第 30 条の次に次の二条を加える。

（課及び課に相当する組織）

第 31 条 総裁は、局等に課又は課に相当する組織（以下「課等」という。）を置くことができる。

（課長及び課に相当する組織の長）

第 32 条 課に課長を、課に相当する組織にその組織の長（以下、課長及び課に相当する組織の長を総称して「課長等」という。）を置く。

課長等は、局室研究所長、秘書役、局等の事務の一部を局室研究所長から独立して処理する審議役及び検査役（以下「局長等」という。）を補佐し、課等の運営を統括するとともに、その課等の事務を処理する。

第 3 3 条から第 4 0 条までを横線のとおり改める。

（ 審議役 ）

第 3 3 条 総裁は、局等に審議役を置くことができる。

審議役は、総裁の命により、その局等の事務の一部を局室研究所長等から独立して処理し、又は局室研究所長の命により、局長等を補佐し、その職務に関与する。

前項前段に定める審議役に事故がある場合には、その局等に置かれた局室研究所長等がその職務を行い、局室研究所長等にも事故がある場合には、その局等の次席者がその職務を代理する。ただし、局室研究所長等が前項前段に定める審議役と協議のうえ、その局等の職員の中からあらかじめ代理者を任命したときは、この限りではない。

（ 参事役 ）

第 3 4 条 総裁は、局等に参事役を置くことができる。

参事役は、局室研究所長等の命により、局長等、~~秘書役、~~審議役又は検査役を補佐し、その職務に関与する。

（ 企画役 ）

第 3 5 条 総裁は、局等に企画役を置くことができる。

企画役は、局室研究所長等の命により、局長等、~~秘書役、~~審議役又は検査役を補佐し、その局等の事務を処理する。

（ 企画役補佐 ）

第 3 6 条 総裁は、局等に企画役補佐を置くことができる。

企画役補佐は、局室研究所長等の命により、その局等の事務を取り扱う。

（ 主査、主任及び副主任 ）

第 3 7 条 総裁は、局等に主査、主任及び副主任を置くことができる。

主査、主任又は副主任は、局室研究所長等の命により、その局等の事務に当る。

（ 考査役 ）

第 3 8 条 金融機構局長は、金融機構局に置かれた審議役、参事役、課長等及び企画役の中から、上席考査役又は考査役を任命することができる。

} 略（不変）

（グループ担当）

第 3 9 条 局室研究所長等は、局等又は課等にグループ担当を置くことができる。

（グループ長担当総括）

第 4 0 条 グループ担当にグループ長担当総括を置く。

グループ長担当総括は、そのグループ担当の事務を取り纏める。

（附則） 1 . この変更は、平成 2 2 年 7 月 1 6 日から実施する。

2 . 変更前の第 3 7 条及び第 4 0 条の規定に基づき置かれた担当及び担当総括については、総裁が別に定める日までの間なお従前の例による。ただし、担当は、総裁が別に定めるところにより、変更後の第 3 1 条の規定に基づき置かれた課等に置かれたものとみなす。